

令和5年度 水稻の生育情報 No.3

令和5年8月4日

農業経営課

1 気象概況

6月以降もやや高い気温推移で、7月の気温は特に高くなっています。

	<6月の平均気温>	<7月の平均気温>
岐阜市アメダス	23.8℃ (平年比+0.6℃)	28.8℃ (平年比+1.8℃)
恵那市アメダス	21.3℃ (平年比+0.5℃)	25.8℃ (平年比+1.2℃)
高山市アメダス	20.2℃ (平年比+0.5℃)	24.8℃ (平年比+1.3℃)

2 生育概況

表1－水稻の生育状況（岐阜県農業技術センター調 令和5年7月13日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生 育 概 況		
				令和5年	平 年	前 年
あきたこまち	5月11日	穂ばらみ期	草丈 (cm)	77.1	76.7	74.5
			茎数 (本/m ²)	360	262	256
			葉色 (GM)	46.2	42.7	47.2
			葉令	12.4	12.1	11.7
コシヒカリ	5月11日	節間伸長期	草丈 (cm)	81.3	80.2	81.1
			茎数 (本/m ²)	408	280	277
			葉色 (GM)	38.6	40.4	41.2
			葉令	12.4	12.0	11.7
ハツシモ岐阜SL	5月11日	分けつ期	草丈 (cm)	69.5	73.2	73.1
			茎数 (本/m ²)	403	296	283
			葉色 (GM)	38.7	38.4	39.7
			葉令	13.0	12.2	12.3
ほしじるし	6月9日	分けつ期	草丈 (cm)	48.8	54.3	58.1
			茎数 (本/m ²)	371	231	318
			葉色 (GM)	42.7	40.3	44.6
			葉令	10.5	9.1	10.9
ハツシモ岐阜SL	6月9日	分けつ期	草丈 (cm)	48.1	48.5	57.5
			茎数 (本/m ²)	344	247	313
			葉色 (GM)	46.0	39.1	48.4
			葉令	11.0	9.5	11.4

表2－水稻の生育状況（岐阜県中山間農業研究所本所調 令和5年7月14日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生 育 概 況		
				令和5年	平 年	前 年
たかやまもち	5月16日	穂ばらみ期	草丈 (cm)	71.0	70.1	77.8
			茎数 (本/m ²)	497	506	495
			葉色 (GM)	44.2	39.4	39.0
			葉令	11.6	11.4	12.5
あきたこまち	5月16日	穂ばらみ期	草丈 (cm)	70.1	69.4	75.3
			茎数 (本/m ²)	471	492	491
			葉色 (GM)	44.1	39.6	42.5
			葉令	11.6	11.5	12.6
ひだほまれ	5月16日	穂ばらみ期	草丈 (cm)	74.7	73.0	80.2
			茎数 (本/m ²)	346	423	431
			葉色 (GM)	39.6	36.2	41.4
			葉令	11.8	11.7	12.7
ひとめぼれ	5月16日	幼穂形成期	草丈 (cm)	70.9	69.6	75.1
			茎数 (本/m ²)	548	627	586
			葉色 (GM)	40.9	36.1	41.8
			葉令	11.2	11.2	12.2
コシヒカリ	5月16日	幼穂形成期	草丈 (cm)	75.9	72.4	79.4
			茎数 (本/m ²)	484	605	582
			葉色 (GM)	40.8	35.9	40.5
			葉令	11.5	11.1	12.1

表3－水稻の生育状況（岐阜県中山間農業研究所中津川支所調 令和5年7月14日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生 育 概 況		
				令和5年	平 年	前 年
あきたこまち	5月15日	幼穂形成期	草丈 (cm)	63.8	－	72.1
			茎数 (本/m ²)	429	－	353
			葉色 (GM)	32.1	－	34.9
			葉令	10.7	－	11.1
ココノエモチ	5月15日	幼穂形成期	草丈 (cm)	60.8	－	67.2
			茎数 (本/m ²)	468	－	342
			葉色 (GM)	32.9	－	30.8
			葉令	10.8	－	11.4
ひとめぼれ	5月15日	幼穂形成期	草丈 (cm)	65.7	－	74.4
			茎数 (本/m ²)	507	－	386
			葉色 (GM)	31.6	－	34.5
			葉令	10.5	－	11.0
コシヒカリ	5月15日	幼穂形成期	草丈 (cm)	72.5	－	78.0
			茎数 (本/m ²)	466	－	368
			葉色 (GM)	28.0	－	30.7
			葉令	10.8	－	11.3

3 栽培上の留意点

6月から7月の高温により、水稻の生育は平年並～早くなっている。8月も猛暑が予想されるため、今後は水管理やカメムシ防除、適期収穫を徹底し良質米を生産するよう努める。

(1) 水管理

穂ばらみ期～出穂開花期は「浅水」としておく。その後の登熟期は、「間断灌水」または田土が十分に水を含んだ「飽水管理」とし、収穫1週間前を目途に「落水」する。

① 浅水

穂ばらみ期～出穂・開花期は、最も水を必要とする時期となるため浅水としておく。この時期に田面が乾いてしまうと、登熟に悪影響を及ぼすので注意する。

② 間断灌水・飽水管理

水田の状態を見ながら湛水状態と落水状態を繰り返すことで、空気と水を供給しながら根の活力を保つ。少なくとも、田土が乾かないよう十分に水分を含ませておく。登熟期の水分不足は、玄米の肥大を妨げ胴割を多発させるため注意する。

③ 落水

収穫1週間前を目安として落水し、水田の土を硬くする事で稲刈作業をしやすくする。落水後に田土が乾く様であれば、「走り水」を行い、水分補給する。

表4－水稻の水管理の目安

生育ステージ	水管理	摘要
穂ばらみ期～出穂・開花期	浅水	
登熟期	間断灌水	飽水状態でも良い
収穫前	落水	場合によっては走り水を実施

※飽水状態とは、田土が十分に水分を含んだ状態をいう

(2) 穂肥の施用

穂肥は、幼穂形成期に肥料分を与える事で、稲体の栄養状態を良くし、籾数を確保したり登熟歩合を高める効果がある。高温下では登熟期に肥料不足となると、基部未熟など高温障害を助長するのでしっかりと施用する。また、高温により水稻の幼穂形成が早まる場合もあるので、幼穂長を確認し適期施用に努める。

なお、基肥一発肥料を作付時に施用している場合は、原則穂肥は不要とする。

表5－水稻の穂肥施用の目安

品種	施用時期	施用時の幼穂長	施用時の葉色	施用窒素量
ハツシモ岐阜 SL	出穂18日前	0.5cm	3.5	3.2 kg/10a

※施用時の葉色は葉色板による数値

(3) 病虫害防除

6月～7月の梅雨により、山間地の一部では葉いもちが発生しており、今後穂いもちへの移行を抑えるよう出穂前後の防除を徹底する。

また、梅雨明け以降の高温・少雨によりカメムシ類が増えており出穂期～傾穂期における防除や各種対策を励行し斑点米や不稔籾の発生を回避する。

① いもち病

気温 20～25℃、稲の水濡れ時間が 10 時間以上続くと発生しやすい。窒素肥料が過剰で葉色が濃く、軟弱に育っていると多発する。特に、穂首や枝梗に発病するいもち病は「穂いもち」と呼ばれ、減収や品質低下に直結するため、出穂前の粒剤散布や出穂後の液剤散布により予防する。

② カメムシ類

梅雨明け後の気温上昇に伴い活動が活発化している。水稻の出穂前後に畦畔や雑草地から侵入するため、出穂 10 日前までに水田周辺の草刈りを済ませると共に粒剤や液剤により出穂前後から傾穂期にかけて防除を行う。なお、いもち病との混合剤もあるので同時防除も可能である。

(4) 適期収穫

適期に収穫した玄米にツヤがあり、整粒を多く含むため外観が美しい。早刈りすると青米が多く、籾水分も多いため乾燥作業に多くの時間と燃料が必要となる。逆に、遅刈りは玄米にツヤがなく、胴割米が増えるため品質が低下する。収穫時期により品質が大きく異なるため適期収穫により、良質な玄米に仕上げたい。

特に、高温下では登熟期間が短くなるため、刈遅れとなる事が多いので注意する。

【刈取時期の目安】

- ・ 帯緑籾割合が 10%前後
- ・ 籾水分 20～25%

積算温度だけでなく、稲穂の成熟具合や籾水分を見ながら収穫時期を決定する。なお、実際の作業にあたっては、収穫適期より早めに稲刈りを始め収穫適期に作業ピークが重なるよう日程調整を行う。

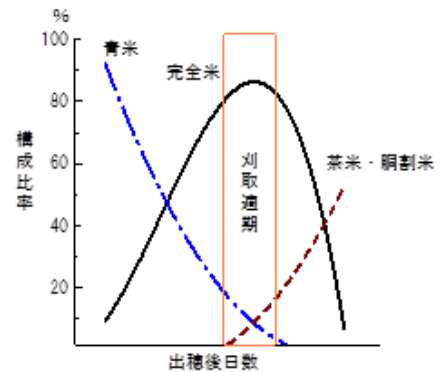


図 1—適期収穫と玄米品質

表 6—地帯別・品種別積算温度 [参考]

地帯	品 種	積算温度
平坦地帯	コシヒカリ、ハツシモ岐阜 SL (早植)、あきたこまち ひとめぼれ	950℃
	あさひの夢 (普通植)	1,020℃
	ハツシモ岐阜 SL (普通植)	1,050℃
中山間地帯	コシヒカリ、あきたこまち、ココノエモチ	950℃
	ひとめぼれ	990℃
山間高冷地帯	コシヒカリ、はなの舞、あきたこまち、ひとめぼれ	950℃
	ひだほまれ	900℃
	たかやまもち	950℃

※積算温度は出穂した日からの平均気温の合計 (出穂当日を含む)